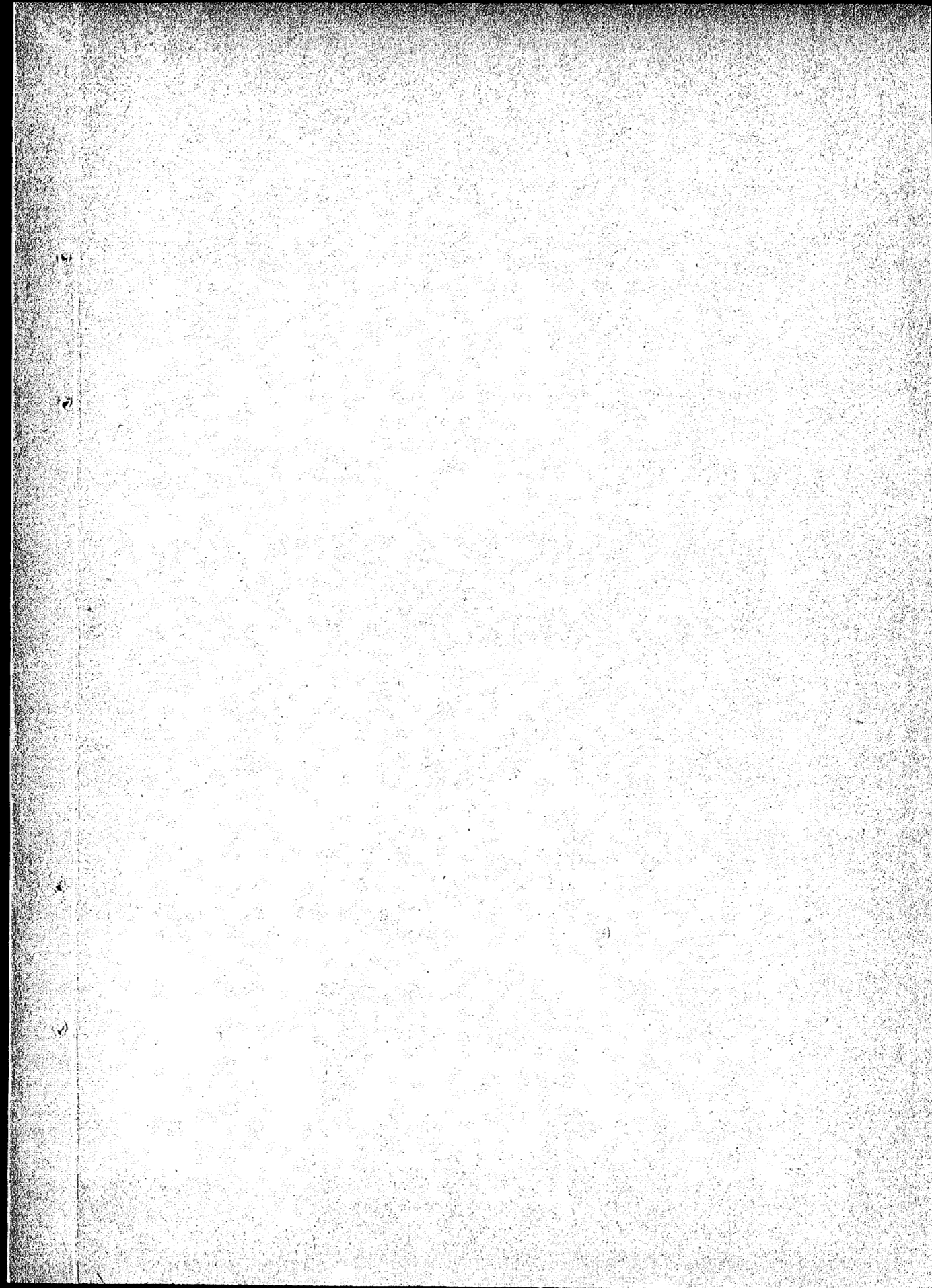


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

|        |        |
|--------|--------|
| 国立公文書館 |        |
| 分類     | 返 書    |
|        | 3 A    |
| 排架番号   | 15     |
|        | 8-1-34 |



8-1-34

0161

戦後経済処理ニ對スル申合

我等ハ聖旨ヲ奉体シ「ポツダム宣言」ノ本旨ニ則リソノ條項實施ニ最大ノ努力ヲ傾注セントスルモノナリ。特ニ經濟問題ニ付テハ國民經濟ノ保持及物資ニ依ル公正ナル賠償支拂ヲ可能ナラシムル如キ産業ニ極限シ苟モ戰爭ヲ目的トスル再軍備ヲ可能ナラシムル産業ハ固ヨリ之ヲ廢棄スバク其ノ目標ヲ大要左記五項目ニ置クベキモノト思惟ス

- 第一 國民生活ノ安定向上特ニ食糧ノ緊急確保
- 第二 平和施設ノ復興改善特ニ運輸通信ノ緊急整備
- 第三 失業問題ノ解決ト思想不安ノ防止
- 第四 賠償物資ノ調達
- 第五 人類文化ニ對スル寄與

而シテ之ガ爲ニハ我國ノ國情ニ鑑ミ首ニ農林漁業ノミナラズ工業、  
礦業、商業、海運及貿易等ノ振興ニ依ルニ非ザレバ到底前記趣旨  
ノ達成ヲ期シ得ザルコト云フヲ俟タズ。仍テ之ガ實現ニ付テハ聯

|        |        |
|--------|--------|
| 国立公文書館 |        |
| 分類     | ② 青    |
| 配架番号   | 3 A    |
|        | 15     |
|        | 8-1-34 |

裏面白紙

各國側ニ於テ左記五原則ヲ認容スベキコトヲ切望ス

一 前記趣旨ニ合スル如キ國內資源ノ全面的活用

二 前記趣旨ニ合スルガ如キ經濟施設ノ活用及擴充

三 前記趣旨ヲ達成スルタメ食糧、原料其ノ他必要ナル物資ノ入

手

四 世界貿易ヘノ急速ナル參加

五 前記趣旨ノ達成ニ必要ナル教育ノ振興

右ハ經濟界ノ一致セル要望ニシテ聯合國側ノ公正ナル判斷ト適正ナル方策ニヨリ「ボツダム宣言」ノ趣旨達成ニ對スル吾等ノ誠意ト努力ヲシテ所期ノ成果ヲ收メ得シムコトヲ衷心ヨリ期待スルモノナリ。

昭和二十年九月

日

日本經濟聯盟會

重要産業協議會

全國商工經濟會協議會

商工組合中央會

裏面白紙